

■ PTA スポーツイベント 12月3日（水）

PTA のスポーツイベントとして、ピククルボールを行いました。ピククルボールとは、テニス・バドミントン・卓球の要素を組み合わせたアメリカ発祥のラケットスポーツです。初めての挑戦となるスポーツでしたが、親子ペアで対戦し、いい汗をかいていました。得点すれば喜び合い、プレーの中では「頼む」「よし」などの掛け声が飛び交いました。さわやかな笑顔のあふれる時間となりました。



■ 人権週間の取組～アニメ「めぐみ」から考える～ 12月5日（金）



12月4日（木）から12月10日（水）までの1週間は「第77回人権週間」です。今年は、全校生徒でアニメ「めぐみ」を視聴し、人権問題（拉致問題）について考えました。生徒の振り返りには「今まで拉致問題について考えたことがなかったし、このような事件が起っていたことも知らなかったの、知ることができてよかった。」「こんなに恐ろしいことが起きているとは、知らなかった。絶対に忘れないようにしたいと思った。」「様々な人権問題について、自分に何ができるかを考えたり、調べたりして関心を持つことが大切だと思った。」というものがありました。



■ 心のサポート授業 12月10日（水）



スクールカウンセラーさんによる心のサポート授業を行いました。この冬休みに1月1日の地震が起きた日があること、12月8日に青森県で震度6強の地震があったことなどから、不安な気持ちになったときの対処法や不安な気持ちにならないように災害に備えておくことなどについて学び、話し合いました。「今日は、地震や災害とどのように向き合っていけばよいのかがあった気がした。」「自分の気持ちが落ち込んだ時にどのような言葉をかけて、どのような曲を聴くと良いか考えることができました。」「つらいときは、自分の好きな曲を聴くと良いと思った。音楽は気持ちを上げてくれるのすごいいいと思った。」「私は歌ったり、聴いたりすることが好きなので、その時の気持ちに合った曲を聴きたいと思った。」という感想がありました。

■ 三崎中学校にて交流学习 12月16日（火）

この日は午後から、三崎中学校に出向き交流学习を行いました。5限目の体育の授業では、ベースボール型ゲームを行いました。大谷小中学校の生徒だけではなかなかできないゲームをする中で、普段学校で行っているキャッチボールやバッティングの練習の成果を発揮することができました。6限目に行われた9年生の英語の授業では、先日まで学習していた単元の復習をクイズ形式で行いました。教科書を参考にしながら、簡単にできるものから、かなり考えないとできないものまで、多彩なレベルの問題に協力して取り組みました。体育も英語もチーム対抗で行いましたが、両方とも同点で終わりました。決着をつけるために、もう一度出向きましょうということでしょうか？生徒たちは、楽しい学習の時間を過ごすことができました。



アニバーサリー反応について

大震災から2年目の節目が近づいてきました。ここ最近、悲しい気持ちや苦しい気持ちを思い出すことがよくある方も多くおられると思います。災害や事件、事故の〇年後などの節目の時期になると、いったんおさまっていたころや体の反応が、再び現れることがあります。それを「アニバーサリー（記念日）反応」と呼びます。このような反応は、人によって程度の違いはありますが、大人も子どもも関係なく誰にでも起こりうることです。決して異常なことでも、心が弱いということでもありません。

起こりやすい反応	
<input type="checkbox"/> 緊張する、落ち着きがない、眠れない	<input type="checkbox"/> そわそわする、いらいらする、勉強に集中できない
<input type="checkbox"/> 怒りっぽくなる	<input type="checkbox"/> 普段よりよくしゃべる
<input type="checkbox"/> 思い出してつらい、ドキドキする	<input type="checkbox"/> 思い出したくないのに思い出す
<input type="checkbox"/> 怖い夢を見る	<input type="checkbox"/> ニュースを見たくない、その話を聞きたくない
<input type="checkbox"/> その場所をさける	<input type="checkbox"/> ポーっとしていることが多い
<input type="checkbox"/> マイナスの考えや自分を責める考えが浮かぶ	

4つの大丈夫

1. 『よくあるから大丈夫』
人によって出る反応や程度は違いますが、節目が近づくと何かしらの反応がでるのは当たり前のことです。これらの反応は誰にでも起こりうるものなので、変なことでも恥ずかしいことでもありません。自分を責める必要も全くありません。
2. 『一時的だから大丈夫』
いったんおさまっていたのに、またぶり返してしまうと「もうこのままずっと治らないのでは…」と不安になりますが、多くの場合、短期間で反応は収まります。もしも長く反応が続くことがあれば、周りの人や医療機関に相談しましょう。
3. 『楽しんで大丈夫』
大きな被害があったから、その日は楽しんではいけないんじゃないか、イベントも楽しんではいけないんじゃないか、日常すら楽しんではいけないんじゃないか…と思う必要は全くありません。思いっきり楽しんで大丈夫です。その楽しい時間をぜひ大切にしてください。
4. 『一人で抱え込まなくて大丈夫』
不安な気持ち、怖い気持ち、悲しい気持ちを自分一人で抱え込まなくて大丈夫です。周りの人に伝えて、大丈夫です。また、報道される機会が増えるため、映像を見るのが辛ければチャンネルを変えたり、OFFにしたりするのもいいです。自分のペースで調整していきましょう。

表彰 おめでとうございます！

【読書感想画コンクール】

中学校の部

自由図書 特選 川端 美冬

入選 水上 しゅり

指定図書 入選 村上 アメティス

【第66回石川県よい歯の学校運動における県審査会】

中学校小規模校の部 優良校

【珠州市よい歯の少年少女】

川端 美冬

【石川県PTA連合会広報誌コンクール】

中学校の部 優秀賞

【石川県PTA連合会優良PTA】

優良PTA石川県教育委員会表彰

【第47回全国小中学校PTA広報誌コンクール】

中学校の部 日本教育新聞社社長賞

【子ども美術展】

川端 晃史

村上 アメティス

水上 しゅり

川端 美冬

【子ども習字展】

川端 晃史

村上 アメティス

水上 しゅり

川端 美冬

【市スプリングコンテスト 表彰】

川端 晃史

村上 アメティス

水上 しゅり

川端 美冬

☆☆☆ 全員が満点でした！！ ☆☆☆

【PRアワード2025】

審査委員特別賞

